

対キルギス無償資金協力「人材育成奨学計画（JDS）」に係る交換公文の署名交換

7月10日（金）、平野隆一駐キルギス共和国日本国特命全権大使と、ルスラン・スイナリエフ・キルギス共和国財務大臣（H.E. Mr. Ruslan SUINALIEV, Minister of Finance of the Kyrgyz Republic）との間で、キルギスに対する無償資金協力（「人材育成奨学計画（JDS）」）に関する書簡が署名・交換されました。また、西方康太郎 JICA キルギス事務所所長と同大臣との間で、同案件に関する書簡が署名・交換されました。本計画の供与限度額は3億8,100万円です。

JDS は、行政を担う人材の育成及び日本・キルギス両国間の友好・協力関係の強化を目的として、キルギス共和国において2007年から実施している日本の無償資金協力事業です。これまでに327名の公務員が日本へ留学し、本年夏にはさらに20名が渡日する予定です。JDS 卒業生は、キルギスの政府・行政機関において要職に就いており、その中には3名の大臣をはじめ、多くの次官や国会議員が含まれています。今回署名・交換された書簡に基づき、2027年夏には新たに20名の公務員等が日本へ留学する予定です。

キルギスでは行政改革をはじめとする様々な改革が進められており、その着実な推進には、行政機関の人材育成と能力強化が不可欠です。本協力は、将来、キルギス政府において政策立案・実施を担うことが期待される若手行政官等に対し、日本の大学院への留学機会を提供し、優先開発課題に関する専門知識や政策立案能力の向上を支援するものです。JDS 卒業生がキルギスに帰国後、日本で習得した知識・スキルを活用し、行政運営の高度化や政策形成の推進を通じて、キルギス共和国の社会・経済発展に貢献することが期待されます。

